研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	顎口腔病態生理学特論Ⅰ・Ⅲ	向井 隆雄

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

臨床を通じて顎口腔疾患の病態を理解し，診断および治療につなげられるよう顎口腔機能について理解を深める。

授業到達目標

（1）口腔粘膜疾患について最新の研究を説明できる。
（2）骨吸収抑制剤に関連する顎骨骨髄炎・顎骨壊死について最新の研究を説明できる。
（3）口腔がんの病態・診断・治療を理解できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	火	17:00-18:00	向井 隆雄	講義	[症例検討会]	顎口腔疾患のカンファレンスに参加し，症例について報告・議論できる。 [場所:歯科総合口腔医療学実験室]
2	毎週	木	17:00-18:00	高尾 香名	講義	[抄読会]	顎口腔疾患に関する最新の論文・文献を紹介する [場所:歯科総合口腔医療学実験室]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1）１年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）１年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

作成されたレポートの内容について添削し，返却しフィードバックする。

教科書

ISBN-9784781204833, 薬剤・ビスフォスフォネート関連顎骨壊死　MRONJ・BRONJ , 柴原孝彦・岸本 裕充・矢郷 香・野村 武史, クインテッセンス出版, 2016

参考書

ISBN-9784781205489, 口の中がわかるビジュアル 歯科口腔科学読本, 全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議(監修), クインテッセンス出版, 2017

準備学習（予習・復習等）

（1）毎週ごとに紹介する論文・文献を次回の講義までに約１時間かけて読んでおく。
（2）紹介された論文の要約を約１時間かけて作成する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。

注意事項・メッセージ

（1）大学院生として，顎口腔疾患の病態を理解し，勉強，実験に熱心に取り組んで下さい。
（2）今回の研究結果が臨床応用可能となることが望まれます。